

89.

中國人の性毛

湯 器

(國立北京大學醫學院解剖學教室)

男女尸體(河北, 山東等地産——北京乞丐收容所よりの材料)に就て以下各部の性毛の組織學的調査を行つた。即ち,

I. 頤部, II. 耳下腺咬筋部, III. 腋窩部, IV. 恥部である。

I. は成年男子に限りある。性毛の割合に密集する處であるらしく、2本づゝ集團になつてゐる。圓形、橢圓或ひは三角、四角の横斷面を有し、あるものは梭狀である。一般にメラニンに富み、空胞を混有す。皮膚表面からの深度は最大3mm。

II. は成年男子でも發育しないものがある。密集して集團になる。横斷面は圓形で色素に乏しい。徑はIより細い、深度も浅いのである。青年男子のは細くて終毛に見えない。肉眼では毳毛と區別なし。

III. は男子に多く、但し青年男子のは發達してゐないらしい。集團になる。男子ではその横斷面圓形或ひは狹卵圓形であつて、女子は廣卵圓形である。かつ男子より細い。色素含量は中等。

IV. は男子では圓形の横斷面を持つてゐる。女子は狹卵圓形である。男子よりも太い。但し臍直下には男女共性毛の分布なし。女子には3本で集團になつてゐるのが窺はれる。

[圖表略す。北京大學醫學院雜誌に出す]

(受附: 昭和17年3月7日)

[醫學と生物學・第1卷・第6號・頁303・昭和17年3月20日]